

令和5年度
鶴見区
社会福祉
講演会

ひきこもる人と家族の 新たな一歩につなげるために

孤立、精神的疲弊、金銭負担、将来への不安などさまざまな不安を抱くことで、ひきこもり（※仕事や学校に行かず、かつ、家族以外の人との交流をほとんどせずに自宅に6か月以上ひきこもっている（厚生労働省））の状態にある方が、現在、全国の15～64歳までの年齢層で推計146万人いるとされています。生きづらさを感じている方、ひきこもりの方やその家族への見守り方やアプローチ方法等についてご近所同士や相談支援機関等それぞれの立場でできることを講師の経験を交えて学び、安心して不安や悩みなどの声を上げられるやさしさとぬくもりのある地域づくりを共にめざしましょう。

日時

令和6年3月5日（火）午後2時～4時

場所

鶴見区民センター 小ホール 鶴見区横堤5丁目3-15

定員

200人（先着順）※定員を超え、受講していただけない場合のみご連絡します。

受講料

無料

申込期日

令和6年2月28日（水）

申込方法

●TELまたはFAXによる申込み
●右記申込フォームから申込み

主催・申込・問合せ先

鶴見区社会福祉協議会

申込フォーム

講師

一般社団法人マノ・ア・マノ
代表理事
むら かつ お
村上 邦男 氏

【プロフィール】

経歴 大阪府生まれ（59歳）
大学卒業後、大手食品メーカーに勤務。この間、「人と人の関わり」が最も大切であると考え、様々なコミュニケーションやリーダーシップに関わるスキルを学ぶ。
2020年、ひきこもり状態の長男と4年間共に歩んだ経験を経て56歳にて会社を早期退職。退職後、大阪府のNPOひきこもり支援組織の運営に参加、厚生労働省委託若者就労支援センター（大阪府内）に勤務するなど、支援の経験値を高め、2020年9月に一般社団法人マノ・ア・マノを設立。当事者目線で、人と人が一緒に歩む伴走支援を実践。自宅訪問や外出同行、社会と触れ合うきっかけづくり等を実践している。

① ちーむオレンジサポーターの取組み

大阪市では認知症に対する偏見や誤解をなくすため、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、できる範囲で活動する「認知症サポーター」をこれまでに約24万5千人（令和5年3月末）養成してきました。

認知症サポーター養成講座を受講後、具体的な活動を行うためのステップアップ研修を通して実践で必要となる知識を習得すると、「オレンジサポーター」に登録されます。オレンジサポーター登録後は、認知症の方やその家族を中心に地域の人や支援者などが共に支え合える取組みを行うチームである「ちーむオレンジサポーター」の担い手として活動します。

鶴見区でも多くの「ちーむオレンジサポーター」が活動できるようステップアップ研修の開催やチームの立ち上げの支援などを行っています。

※

認知症サポーター養成講座

※

※

あなたも、認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族、関係者の応援者です。

認知症の方や家族を支えるやさしい地域づくりにご協力をよろしくお願いいたします。

※当日、体調不良の場合は、参加をお控えください。
※当日の午前7時の時点で「暴風警報」「特別警報」が発令された場合は、中止となります。

問合せ・申込み ☎06-6913-7070
鶴見区キャラバン・メイト連絡会事務局
（鶴見区社会福祉協議会内）

日時

令和6年 3月2日（土）
午後1時30分～3時

場所

鶴見区在宅サービスセンター
鶴見区諸口5丁目浜6-12

対象

鶴見区在住・在勤の方

定員

30名（先着順）

講師

鶴見区キャラバン・メイト連絡会メンバー

申込方法

来所・電話・申込フォーム

申込期間

令和6年
2月1日（木）
～2月29日（木）

ウェブからの
申込はこちら

※

第3回 大阪市認知症サポーター
「ステップアップ研修」

※

日時

令和6年 2月16日（金）
午後1時～5時（受付 午後0時30分から）

場所

鶴見区在宅サービスセンター 3階会議室

対象

①大阪市内在住・在勤の認知症サポーター養成講座修了者
②ちーむオレンジサポーターとして活動の意思がある方
※①②とも満たしている方

定員

定員20名

申込期間

2月6日（火） 必着

締切間近ですのでご注意ください

問合せ・申込み ☎06-6913-7512
FAX.06-6913-7676

ウェブからの
申込はこちら

② オレンジパートナーの取組み

認知症の人にやさしい取組みを実施する企業・団体等を「オレンジパートナー」として登録しています。今後もその輪を広げ、認知症の人が安心して生活できるまちづくりをめざしていきます。現在、登録されているオレンジパートナーは右記のQRコードからご確認ください。



ふれあい喫茶がすべての地域で再開されました!

新型コロナウイルス感染症の影響により休止されていた活動が、鶴見区内12地域すべての地域で再開されました。ふれあい喫茶は、地域にお住まいの方が集い、ふれあうことのできる場として、各地域の福祉会館や公民館で実施されています。各地域の開催場所・時間・内容等は左下の表のとおりです。どなたでも参加できますので、ぜひお住まいの地域のふれあい喫茶にご参加ください。

開催日 一覧表

地 域	場 所	曜 日	時 間
鶴見	鶴見公民館	第2日曜	午前9時～11時
榎本	榎本福祉会館	第3日曜	午前10時～正午
今津	今津会館	第3日曜	午前10時～正午
茨田南	茨田南福祉会館	第1・第3日曜	午前10時～11時30分
茨田	茨田福祉会館	第2水曜	午前10時～正午
茨田東	茨田東福祉会館 要予約	第2・第4土曜	第2:午前9時～11時 第4:1部 午前11時30分～ 2部 午後12時30分～
茨田北	茨田北福祉会館	第4日曜	午前10時～11時30分
焼野	焼野福祉会館	第3日曜	午前10時～11時30分
	焼野市営住宅集会所	第2日曜	午前10時～11時30分
茨田西	茨田西社会福祉会館	第2土曜	午前10時～正午
横堤	横堤福祉会館	第2日曜	午前10時～正午
	4月以降の日程についてはお問合せください。		
緑	緑ふれあいの家	第4日曜	午前9時～正午
鶴見北	鶴見北公民館	第3日曜	午前10時～正午

日程につきましては行事等で変更の場合がありますので各会館へお問合せください。各地域の福祉会館につきましては、右記のQRコードよりご確認ください。



茨田西地域

コロナ禍でも、地域でお茶を飲みながら話ができる場が必要であると感じ、令和4年4月よりふれあい喫茶を再開しました。ボランティアも入れ替わり、また物価高の影響も受け、コロナ以前とメニューを変更し、飲み物とお菓子を提供しています。参加者の皆さんがおしゃべりを楽しんでいる様子を見ると、「このような場があることが大切」と感じています。



茨田地域

コロナ以前は地域内2カ所の会館でふれあい喫茶を開催していましたが、令和5年5月に再開するにあたり、場所を移転し、福祉会館1カ所のみで再開することにしました。場所も少し広くなり、ボランティアの創意工夫のもとコロナ以前と変わらぬメニューを提供しています。近くの福祉施設からの参加もあり、地域住民との交流の場となっています。



地域住民さん
から

「こんな居場所があったらいいな!」の 声 をいただきました



生活支援コーディネーター

鶴見区地域包括圏域

茨田北・茨田・茨田南・茨田東・焼野地域



11月7日(火) 焼野福祉会館で地域座談会を開催。「一緒に散歩してくれる人がいたらなあ…」との声に「町内をみんなで歩いているよ」「一緒に歩こうよ」と返答されるなど会話ははずみ、つながりが広がる場面もみられました。

この座談会の意見交換を参考に、今後も焼野地域の皆さんのつながりが広がり、笑顔で元気に過ごせる居場所づくりを支援していきます。

鶴見区西部地域包括圏域

茨田西・横堤・鶴見北・鶴見・緑地域

11月17日(金)に『せいぶカフェ』(茨田西地域)が「西部地域包括支援センター」主催で3年ぶりに対面で再開され、皆さんの思いをたくさん伺うことができました。その中で、ポッチャに興味を持たれた方が、日本ライトハウスで毎月開催している『サロンdeポッチャ』に参加し、「地域でもっとポッチャを楽しめる場が増えたらええな～」との思いを持たれました。今後も『ポッチャ』をはじめ、地域の皆さんが楽しめる居場所づくりを支援していきます。



鶴見区南部地域包括圏域

榎本・今津地域



令和5年2月の第1回「南部包括住民座談会」の開催を皮切りに、男性の居場所として、榎本「牛歩会」と今津「俺のシニアクラブ」のサークル活動が立ち上がり、令和5年10月には「ポッチャ」を通じた交流会を開催しました。その交流会では小学校の頃の同級生が再会し、懐かしい話で盛り上がる場面もあり、さらにモチベーションも上がりました。ますます男性の居場所は盛り上がりを見せています。

見守り相談室

「見守り相談室」では、見守り支援ネットワークが地域の方々や関係機関との見守り体制づくりを進めながら、様々なお困りごとの相談に応じています！

見守り事例

1

最近物忘れがひどくて…ひきこもっている息子のことも心配で…

わかりました。生活上でのお困りごとをくわしく聞かせてください。息子さんについては一度お会いする機会をいただけないでしょうか？

見守り支援ネットワーク

2

月に何度が訪問し、息子さんの気持ちに寄り添います

働く自信もなく…生きることも辛い…

ゆっくり一緒に考えていきましょう。

3

●●さんの支援会議

-
-

お父さんは認知症の可能性があるので、病院に連絡してはどうでしょうか。

息子さんは自立に向けた就労準備支援はどうでしょうか。

オレンジチーム 自立相談支援機関職員

4

息子さんは生活リズムが整い、仕事に対しても徐々に前向きに考えられるようになりました。

お父さんは認知症の診断ができました…その後介護サービスを利用したことで生活が安定してきました

「どこに相談したらいいのかわからない…」と困ったら、**まずは「見守り相談室」にご連絡ください。**

たとえば…



● 家族がひきこもっていて困っている
● 人との関わりがなく、寂しさを感じている
● 困りごとを抱えているけれどどうしていいのかわからない

相談無料 秘密は必ず守ります
問合せ 見守り相談室 ☎ 06-6913-7070

まちの支えあい活動

ちょっとしたお困りごと、ご相談ください！

通称「あいまち」会員募集中！ (利用・活動)

※原則、介護保険サービス、障がい者支援サービスなどが優先となります。

料金設定について

会員 年会費…1,000円

利用する場合	利用料…800円(1時間) ★事前に5時間分(4,000円)のチケット購入が必要です。
活動する場合	謝礼…600円(1時間)

鶴見区社協ホームページまたは下記のQRコードで「あいまち」の活動の様子や仕組みを紹介しています



※この事業は、各地域の「つなげ隊」活動など『住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業』の一つとして実施しています。

問合せ 「あいまち」事務局 ☎ 06-6913-7066
月～土曜日 午前9時～午後5時30分

日常生活自立支援事業「あんしんさぽーと」

「あんしんさぽーと」は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力に不安のある方を対象に、安心して自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理をお手伝いします。

例えば

福祉サービスは利用したいが複雑な手続きができない



福祉サービスなどの利用援助

計画的にお金の支払いが出来なくて不安



金銭管理サービス

通帳や印鑑など大事なものをどこに置いたか忘れてしまう



預かりサービス

問合せ あんしんさぽーと ☎ 06-6913-7041
月～土曜日 午前9時～午後5時30分

生活困窮者
自立支援事業

自立アシスト相談

／まずご相談ください／

「仕事が長続きせず、収入が不安定」
「借金が重なって生活に困っている」等

相談支援員がお話を伺い、一緒に考えます。

- 窓口相談のほか訪問による相談も可能です。
- 相談は無料、秘密は守ります。

相談時間

月～金曜日
午前9時～午後5時30分
土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は休み

場 所

鶴見区役所3階33番窓口
鶴見区横堤5-4-19

問合せ ☎ 06-6913-7060

つるみエンジョイセンター (老人福祉センター)

センターだより
LINE配信中



つるみエンジョイセンターは、高齢者の方のICT機器の活用をサポートしています。ぜひ、ご参加ください。

啓発講座

外部講師に教えていただきます

- スマホ体験教室(年4回開講)
- 初心者パソコン講座(2日間コース・年1回開講)

ボランティア講座

ボランティア講師の方に導いていただきます

- LINE勉強会(月2回開催)
- おしえて!PC・タブレット(月1回開催)

※当センターは、利用者が無料でお使いいただけるWi-Fi設備を完備しています。

場 所

鶴見区横堤5-5-51

問合せ ☎ 06-6912-3351

鶴見区ボランティア・市民活動センター

「つるりっぷカフェ」が約4年振りに再開しました!



「カフェボランティアグループ」の様子

定例開催日時 毎月第3金曜日 午後2時～3時30分
対 象 親子連れから高齢の方までどなたでも
申 込 不要(先着30名)
費 用 飲み物代:各100円

主催・問合せ先 鶴見区社会福祉協議会

運営・協力:カフェボランティアグループ「モカ ブレンド」(令和5年度「カフェボランティア養成講座」から誕生!)
 鶴見区地域包括支援センター連絡会



「つるりっぷカフェ」の様子

ぜひお越し
 ください♪

傾聴ボランティア養成講座を開催しました!

11月30日(木) 12月7日(木) 12月14日(木) の3回連続講座に31名の方が受講されました。学んだことを活かし、ボランティアグループとして活動を展開するため準備中です。

※傾聴ボランティアとは、相手の気持ちに寄り添ってお話を「聴く」ボランティアです。

令和6年度 ボランティア保険加入のご案内

この保険はボランティアの方が、活動中に事故にあってケガをしたり、対象者など第三者の身体や財物に損害を与え、賠償責任を負ったりした場合に支払われる保険です。

補填期間 令和6年4月1日0時から令和7年3月31日24時までの1年間

問合せ先 鶴見区社会福祉協議会

※4月1日以降は社会福祉協議会で加入手続きが完了した翌日午前0時から補填が始まります。

受賞おめでとうございます

(敬省略)

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

●鶴見地域活動協議会 鶴見食事サービス委員会

長引くコロナ禍においても実施方法に工夫を重ね、感染対策に努めながら食事サービスを継続されてきました。永年のボランティア活動の功績を称え、この度鶴見食事サービス委員会が厚生労働大臣表彰を受賞されました。



大阪市長感謝 地域福祉推進功労者感謝(鶴見区社会福祉協議会役員)

●鶴見区社会福祉協議会

理 事 西口 設記 **理 事** 小倉 通義 **評議員** 宮原 一美 **評議員** 平井 寿子
評議員 安達 恵美子 **評議員** 田中 弘一 **評議員** 馬場 貴美子

●ボランティア団体 特定非営利活動法人 心織

令和5年度「赤い羽根共同募金」

～ご協力ありがとうございました～

令和5年10月から行われた「赤い羽根共同募金」には、皆さんの温かい善意とご協力により7,712,109円が寄せられました(令和5年12月末現在)。



この募金は、大阪府共同募金会を通じて、地域の社会福祉事業に活用させていただきます。

赤い羽根共同募金の使い途は、こちらでもご覧になれます。

●赤い羽根データベース

「はねっと」

赤い羽根

検索



善意銀行

善意銀行では、地域の皆さまからの寄付金や物品をお預りし、必要に応じて区内の社会福祉施設や団体に助成を行い、地域福祉の発展のため有効に活用させていただいております。

善意銀行の趣旨をご理解いただき、皆さまからの善意の預託をお待ちしております。

●令和5年7月1日から12月31日に 預託していただいた団体及び個人名(順不同・敬称略)

金銭預託
 基誼会……………104,326円
 大阪東部ヤクルト販売株式会社…40,000円
 鶴見幼稚園保育会……………50,000円
 ベル食品工業株式会社……………35,300円

物品預託
 菅沼 裕美……………車イス1台
 大阪マーガレットライオンズクラブ
 ……………食料品(12万円相当)

たくさんのご寄付をいただき、ありがとうございます。皆さまからのご寄付は、善意銀行運営委員会において審査し、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

賛助会員募集

のおねがい

鶴見区社会福祉協議会では、共同募金配分金や各種補助金のほか、寄付金・会費等により地域福祉に関わる事業を実施しています。会費の使途としましては、半額を会費振込手数料、区在宅サービスセンター維持管理等、半額を高齢者の見守り活動やサロン活動、子育て支援などの福祉事業に活用させて頂いております。これまでに、多くの区民の皆さまや企業、各種団体の方々に賛助会員となっておりまして、さらに充実した事業展開を図るため、広く会員を募集しています。

一人でも多く
 のご支援をお願い
 します

個人会費 10 1,000円
法人・団体会費 10 10,000円
 (口数は何口でも結構です)

直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みをお願いいたします。(振込用紙に住所・お名前・電話番号をご記入ください)

加入者名 社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会

口座番号 00930-2-83525

※年間を通じて受付をしています。

☆すでに賛助会員としてご協力いただいている皆さまには、直接、会費納入のご依頼を送付させていただきます。

広報紙に関するお問合せは…



大阪市鶴見区社会福祉協議会

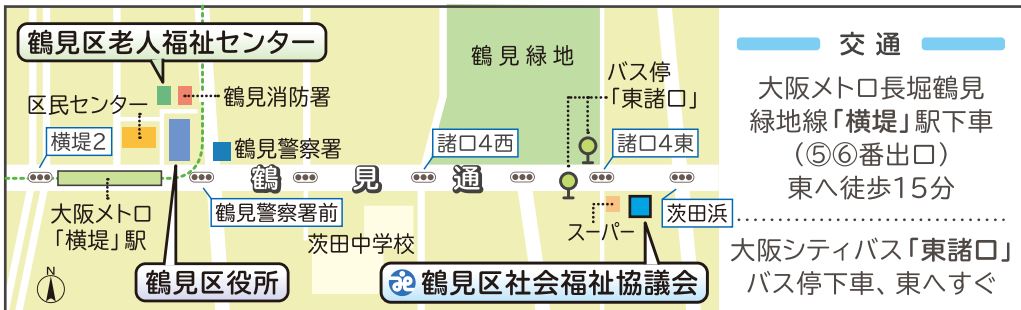
〒538-0051 大阪市鶴見区諸口5丁目浜6-12
 鶴見区在宅サービスセンター内

☎06-6913-7070 FAX06-6913-7676

開館時間 午前9時～午後7時(土曜日は午後5時30分まで)

休 館 日 日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)

鶴見区社会福祉協議会



交通

大阪メトロ長堀鶴見緑地線「横堤」駅下車(⑤⑥番出口) 東へ徒歩15分

大阪シティバス「東諸口」バス停下車、東へすぐ